

公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025 年 2 月 16 日					
ざくろくろくスクール山崎		チェック項目	はい	いいえ	実施している点	課題や改善すべき点	
現 状	1	利用者が発達障害等のニーズとの観点で選択されているか。	6				
	2	利用状況や子どもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	4	2			
	3	生活空室は、どこにもわかりやすく確保された状態になっているか。また、事業所の設備は、児童の状況に応じ、バリアフリー化や物理的障害、視覚上の障害がなされているか。	2	4			
	4	生活空室は、清潔で、心地よく過ごせる状態になっているか。また、子どもの運動に合わせた空室となっているか。	6				
	5	必要に応じて、子どもが個別の目標や目標を達成することが認められる環境になっているか。	5	1			
整 改	6	事業所を運営するためのRCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	5	1			
	7	保護者向け相談により、保護者の意向等を把握する機会を設けており、その旨を事業報告書につけてしているか。	6				
	8	職員の間接的支援を把握する機会を設けており、その旨を事業報告書につけてしているか。	6				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を事業報告書につけてしているか。	4	2			
	10	職員の資力の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6				
適 切 な 支 援 の 実 現	11	適切な支援プログラムが作成、公表されているか。	6				
	12	個別のニーズに対してアセスメントを適切に行い、子どもの発達上のニーズや発達特性に応じた支援プログラムを作成しているか。	6				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、発達障害支援管理責任者が中心となり、子どもの発達上のニーズや発達特性の観点から、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6				
	15	子どもの個別行動の状況や、発達特性やニーズを用いたフォームやアセスメントや、日々の活動記録などを用いたフォームやアセスメントを適切に更新するよう実施しているか。	6				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供（事業所）」の「本人支援」、「関係者連携」、「移行支援」及び「危機管理（危機対応）」の4つの主要な内容も含まれ、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、関係者の支援内容が設定されているか。	6				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6				
	18	活動プログラムが変更をしないよう工夫しているか。	6				
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、変更が行われているか。	5	1			
	20	支援計画には適度な必要十分な内容を、その行われべき内容の内訳や役割分担について整理し、チームで連携して変更を行っているか。	5	1			
	21	支援計画には、職員間で必ず共有を行い、その行われべき内容の振り返りを行い、互いに必要を共有しているか。	5	1			
	22	日々の活動に関して記録をとることを実施し、支援の検証・改善につけてしているか。	6				
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の進捗の必要事項を確認し、適切な対応を行っているか。	6				
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの主要な内容」を適切に組み合わせて実施を行っているか。	6				
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す工夫が実施されているか。	6				
	保 護 者 と の 協 力	26	発達障害支援事業所のサービス提供計画や関係機関との連携に、その子どもの状況よく連携した取り組みが実施されているか。	6			
		27	地域の保健、医療（生活や能力支援機関等）、障害福祉、教育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
		28	学校との関係性（特別支援・行事等）の交流、子どもの学習特別の相談等、相談支援（相談対応、トラブル発生時の連携）を適切に行っているか。	6			
29		国等に利用している保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で連携共有と相互理解に努めているか。	5	1			
30		学校を卒業し、放課後等デイサービスが卒業後サービス事業所等へ移行する際、それまでの支援内容等の情報を提供しているか。	4	2		卒業生がいない	
31		地域の児童発達支援センターとの連携を取り、必要に応じてスーパーバイザー制度や助言を受け取る機会を設けているか。	5	1			
32		放課後等デイサービスや児童館との交流や、地域の他の子ども活動する機会があるか。	3	3			
33		「自己支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2			
34		日頃から子どもの状況や発達特性を把握し、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6				
35		事業の計画の進捗を把握するために、事業所に対して支援プログラム（ヘルプシート・トレーニング等）や事業所の状況に関する研修の機会や情報提供を行っているか。	4	2			
支 援 者 へ の 協 力	36	連携機関、支援プログラム、関係機関等について丁寧な説明を行っているか。	6				
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、子どもが発達上のニーズや発達特性の観点から、子どもの最善の利益を考慮し、関係者の意向を踏まえて、子どもの最善の利益を確保する機会を設けているか。	6				
	38	「放課後等デイサービス計画」を子どもが支援内容の概要を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の概要を聞いているか。	6				
	39	事業所からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、相談や必要な支援を行っているか。	6				
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者間で交流する機会を設ける等の交流を行っているか。また、必要に応じて必要事項を保護者に提供しているか。	2	4			
	41	子どもが保護者からの依頼について、適切な対応を確保することや、子どもが保護者から依頼を受けることについて、適切な対応を確保しているか。	6				
	42	適切な連絡先を設けることや、対応の遅延を認めることにより、適切な対応が実現しているか。	3	3			
	43	個人情報は適切に十分保護しているか。	6				
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6				
	45	事業所の行事に地域住民を招き入れる等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	2	4			
支 援 者 へ の 協 力	46	事業所はマニュアル、業務報告マニュアル、研修マニュアル、関係機関対応マニュアルを策定し、職員や関係者に周知することや、関係機関との連携を確保しているか。	6				
	47	事業所は計画（報告）を策定することや、必要に応じて関係機関と連携し、定期的に更新、修正する必要な調整を行っているか。	6				
	48	事前に、事業所や関係機関、関係機関等の子どもの状況を把握しているか。	6				
	49	支援プログラムのあることについて、関係機関等に書く対応がされているか。	5	1			
	50	安全計画を策定し、安全計画は必要に応じて更新、そのほか必要事項を策定し、安全計画を十分把握して実施されているか。	6				
支 援 者 へ の 協 力	51	子どもの発達特性に応じて、支援内容の調整が行われるよう、安全計画に書く支援内容について、事業所が実施しているか。	5	1			
	52	バリアフリーを事業所内で実施し、再発防止に向けた対策について検討しているか。	6				
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応を行っているか。	6				
	54	子どもの安全確保に必要事項を策定する等について、職員に周知し、子どもが保護者から十分に説明し理解した上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1			